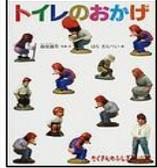
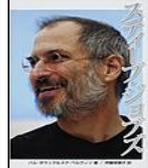


# 小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2012年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	<b>「ウエズレーの国」</b>  ポール・フライシュマン 作 ケビン・ホークス 絵 千葉 茂樹 訳 あすなる書房	仲間はずれにされていた少年ウエズレー。夏休みの自由研究にひらめいたのは、自分だけの作物を育て、自分だけの服を作り、「遊び」を考えだし、「文字」までを発明して、「自分だけの文明」をつくりだすことでした。
絵本	<b>「トイレのおかげ」</b>  森枝 雄司 写真・文 はら さんぺい 絵 福音館書店	毎日の生活に欠かせないトイレ。ヨーロッパ、フィリピン、日本など、世界の「人とトイレ」の歴史から、飛行機や宇宙船のトイレまで、写真と楽しい絵でたどります。面白い場面まんさいの、トイレづくしの本です。
図書	<b>「希望の筆 ダウン症書家・金澤翔子物語」</b>  丘 修三 文 佼成出版社	力強い書を書き、見た人に深い感動を与えるダウン症の書家・金澤翔子。母親といっしょに、一步一步、笑顔で歩んできたこれまでの道のりと、彼女の素顔を紹介します。
図書	<b>「スティーブ・ジョブズ」</b>  パム・ポラック 著 メグ・ベルヴィン 著 伊藤 菜摘子 訳 ポプラ社	始まりは、友だちとつくった1台のコンピューターからでした。夢に向かって走り続け、先進的な商品を世の中に送り出した、スティーブ・ジョブズのわかりやすく読める伝記です。
図書	<b>「バッテリー」</b>  あさの あつこ 作 佐藤 真紀子 絵 教育画劇	そうだ、本気になれよ。本気で向かってこい。子どもだとか小学生だとか中学生だとか、関係ないこと全部すてて、おれの球だけを見ろよ。多感な時期を野球に明けくれてすごす少年たちが、生き生きとえがかれています。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	<b>「霧のむこうのふしぎな町」</b>  柏葉 幸子 作 杉田 比呂美 絵 講談社	水玉もようのかさを追いかけているうちに、リナは、ふしぎな町へやってきました。森の深い緑の中に、赤やクリーム色の家が6けん。石だたみの道は雨が降ったようにぬれていきます。ここが、リナの探していた、霧の谷のめちやくちや通りでした…。
図書	<b>「夏の庭-The friends」</b>  湯本 香樹実 作 徳間書店	12歳の夏、ぼくたちは「死」について知りたいと思い、「もうすぐ死ぬんじゃないか」とうわさされる、一人暮らしのおじいさんを見張り始めましたが…。三人の少年と、こどくな老人のかけがえのない夏が始まります。
図書	<b>「ハンナのかばん」</b>  カレン・レビン 著 石岡 史子 訳 ポプラ社	第二次世界大戦中、アウシュビッツのガス室で十三年の一生をおえたハンナ・ブレイディ。彼女がどんな少女だったのか、彼女に何が起きたのか…。ハンナが残した旅行かばんから、探っていきます。
図書	<b>「夜の神話」</b>  たつみや 章 著 かなり 泰三 絵 講談社	パパの勤める原子力発電所で、おそろしい事が…。マサミチが大好きなスイッチョさんは、全身を青い炎に包まれました。そのころマサミチは、ツクヨミの神とあがめられる「夜のお方さま」に出会います。スイッチョさんの命をすくい、危機をくいとめることが、できるのでしょうか？
図書	<b>「ぼくだけの山の家」</b>  ジーン・クレイヘッド・ジョージ 作 茅野 美ど里 訳 偕成社	ニューヨークをはなれ、かつて「そう祖父」が住んだ深い森へ向かったサム。そこで、自分で家をつくり、かりをしてとったえものや木の実を食料として、たったひとりで暮らすことにしますが…。少年の森の生活をえがき、読みつがれる名作です。